

法吉団地のお客様各位

2021年12月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 102,870 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2021年10月	800.0 (\$/t)	2021年11月	為替レート(TTS)	114.11 (円/\$)
	2021年11月	870.0 (\$/t)	2021年11月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	835.0 (\$/t)	2021年11月	輸送運賃	6,800 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2021年10月	753.0 (\$/t)		※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 835.0 \times 114.11 \times 0.7 + (753.0 + 105.00) \times 114.11 \times 0.3 + 6,800 \\ &\doteq 102,870 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 102,870 - 67,170 = 35,700 → 35,700 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times 35700 \times 110\% = 82.4670 \doteq 82.46 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	602.32
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	501.25
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	411.41

法吉団地のお客様各位

2022年1月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 100,580 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2021年11月	870.0 (\$/t)	2021年12月	為替レート(TTS)	115.14 (円/\$)
	2021年12月	795.0 (\$/t)	2021年12月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	832.5 (\$/t)	2021年12月	輸送運賃	7,200 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2021年11月	656.0 (\$/t)	※JGE 中東フレート		

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 832.5 \times 115.14 \times 0.7 + (656.0 + 105.00) \times 115.14 \times 0.3 + 7,200 \\ &\doteq 100,580 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 100,580 - 67,170 = 33,410 → 33,400 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times 33400 \times 110\% = 77.1540 \doteq 77.15 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	597.01
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	495.94
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	406.10

法吉団地のお客様各位

2022年2月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

- ① 基準平均原料価格 67,170 (円/t) (供給約款より)
② 実績平均原料価格 91,050 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2021年12月	795.0 (\$/t)	2022年1月 為替レート(TTS)	114.88 (円/\$)
	2022年1月	740.0 (\$/t)	2022年1月 米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	767.5 (\$/t)	2022年1月 輸送運賃	7,200 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2021年12月	537.0 (\$/t)	※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 767.5 \times 114.88 \times 0.7 + (537.0 + 105.00) \times 114.88 \times 0.3 + 7,200 \\ &\doteq \mathbf{91,050} \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額(100円未満切り捨て)} &= \text{実績平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ \text{今月の原料価格変動額} &= 91,050 - 67,170 = 23,880 \rightarrow \mathbf{23,800} \text{ 円} \end{aligned}$$

3. 従量料金単価調整額の算定

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{23800}{100} \times 110\% = 54.9780 \doteq \mathbf{54.97} \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。
ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. 法吉団地の料金表(料金は全て税込表示)

法吉団地

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	896.50	519.86	574.83
B群 8.1~30.0m ³	1,705.00	418.79	473.76
C群 30.1m ³ 以上	4,400.08	328.95	383.92